児童養護施設　同朋学園　令和７年度事業計画

令和６年度の振り返り

令和 6 年度は途中退職者が出るなど厳しい勤務状況に置かれました。そのなかでも困難を抱いた職員と面談を重ねたり、複数体制を敷いてフォローしたりするなど、改めて働きやすい職場環境づくりに着目しました。また職員それぞれが向上心を持って努力することで、リフレッシュ事業の受け入れ 89 件、一時保護委託の受け入れ 10 件と、地域への支援にも貢献出来ました。今後も良好な職場環境づくりに努めつつ、社会の困難なニーズに寄与してまいります。

１．実践目標

重点目標		実践計画
人権の尊重	≪子ども支援≫ ・子どもの最善の利益を考えた支援 ・虐待防止、権利侵害の根絶	・各ユニット定員６名でより家庭的な環境での養育を行う ・子どもが主体的に運営する行事（運動会など） ・子ども対象の研修会（サイバー講習、性（生）教育、No Hit Zone 教育） ・学習支援（学習塾の活用、図書コーナーの充実） ・意見箱で子どもの意見要望を募り権利擁護新聞で回答・掲示 ・意見表明等支援事業の実施 ・子どもの権利擁護チェックリスト（全養協）による自己点検 ・ケースカンファレンス（年 11 回） ・虐待関係研修（ファーストステップ、セカンドステップ、CVPPP：包括的暴力防止プログラム）
サービスの質の向上	≪養育の質の向上≫ ・社会的、家庭的養護推進に向けて職員の資質向上を目指す	・スキルアップ研修（障がい児研修、性（生）教育、ペアレントトレーニング、アンガーマネジメント等） ・第三者評価受審（12 月頃） ・自立生活援助事業の実施 ・自立支援事業 ・自立に向けたアセスメントシートを活用
人材育成	≪人財育成≫ ・一人一人の力が十分に発揮できる組織作り ≪人財確保≫ ・宿泊実習生、学生アルバイトの積極的受け入れ	・互いの強みを活かし、弱みをフォローする体制づくり ・『いいとこ探し』 ・外部講師によるスーパーバイズ ・新任、若手職員への面談（年２回） ・実習生、アルバイト職員の育成 ・養成校との懇談会への参加 ・就職フェアや各学校を通じた求人活動の実施
地域との共生	≪社会貢献≫ ・多様な主体の連携・協力 ・地域のニーズを知る	・地域清掃の実践（子どもと一緒に月１回・職員は週１回） ・地域活動への参加（全教一斉ひのきしんデー年１回、五毛天神子ども神輿、児童館夏祭り手伝い） ・地域支援（子育て相談等） ・リフレッシュ事業の充実 ・一時保護委託の受け入れ ・ほっとかへんネットとの協働 ・学校運営委員会への参加

２.施設運営

健康管理	園児関係	園児健康診断（年２回）
	職員関係	健康診断（年１回）但し宿直者は年２回（予防医学協会） 検便検査　調理担当者・処遇職員（月１回、６～１０月は月２回）
	栄養管理	集団給食施設栄養報告／給食供給の諸管理／食中毒、安全管理

安全対策	避難訓練等	避難・消火訓練（月１回）／総合防災教育（年２回）／地震訓練（年１回）／不審者訓練（年１回）／土砂災害訓練（年１回）
	防災設備の点検委託	東報サービス株式会社（年２回）
	防犯設備の管理委託	アルソック綜合警備保障株式会社
	非常食糧の備蓄	（約３日分）アルファ米１５０Ｐ／カップ麺６０食／シーチキン４８缶／缶入りパン１２０缶／ドライカレー６０食／おでん７４袋／飲料水３００ℓ／みかんの缶詰２４缶
	安全管理	防火管理者講習会（年１回）／火災通報設備設置・避難訓練の実施／県警ホットライン通報設置・不審者訓練の実施／オートロック及びモニターの設置／ＡＥＤの設置／防犯カメラの設置
	設備関係	危険箇所の有無確認
関係機関との連携	子ども家庭センター	・入所児童の処遇について、ケースワーカー、心理判定員等と緊密な連絡をとり、通所等で処遇の改善を行い、保護者を含めた児童の健全育成に努力する。(子ども家庭センター心理士・学園処遇担当者との情報共有会議年３回程度) ・子ども家庭センターとの連絡を密にして、入所の充足に努める。 ・必要に応じたケースカンファレンスの実施（センター・学園・学校・保護者等）
	学　校	・保、小、中、高との連絡を密にし、児童にとってより適切な学習や生活指導が行えるようにする。 ・中学校の学習指導については特に強化を図り、高校進学率が向上する事を目指す。 ・高校生においては学習、生活面での指導を通じて、学力の向上と社会人としての自主性、自立心の向上を図る。同時に高校中退をなくす。 ・大学、専門学校においては学校との関係は本人が自主的に行動し、卒業・就職に至るような本人支援を行う。
	専門機関	医療機関／福祉関係（養護施設、乳児院等の施設・障害関係等）
委員会	委員会活動	リービングケア委員会 SNS・性教育委員会 権利擁護・虐待防止委員会 食育委員会
備品・修繕関係	備品購入予定	なし
	保育用品購入予定	なし
	給食用品購入予定	なし
	固定資産物品購入予定	なし
	修　繕　予　定	なし

３.研修計画

対象者	外部研修	園内研修
園　長	全国児童養護施設長研修	発達障がい研修 コミュニケーション研修 コンプライアンス研修
中堅以上	近畿児童養護施設研修 西日本児童養護施設職員研修	

新　任	市社協新任研修 神戸市児童養護施設連盟新任研修	虐待防止研修 性教育研修 ペアレントトレーニング研修
調理員・栄養士	給食者研修	
職　員	天理教社会福祉施設連盟研修	

４.入所児童数

過去５年の在籍児童数（令和７年度は予定）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計	暫定定員
２年度	40	40	40	39	38	38	39	37	39	39	39	40	468	42
３年度	45	40	39	41	39	39	39	40	41	41	41	41	486	44
４年度	42	42	42	42	42	42	42	41	41	40	41	41	498	44
５年度	38	40	40	39	39	39	39	39	38	40	39	39	469	44
６年度	41	41	41	40	40	39	39	39	38	38	37	37	470	44
７年度	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	408	42

※令和７年度は令和６年度３月時点の児童数を記載しておりますが、女子コーナーの新設を設置しますので男女ともに積極的に受け入れしてまいります。

５．職員構成

	施設長	児童指導員 保　育　士	栄養士	事務員	調理員等	嘱託医	その他 （心理・宿直）	合　計
正規職員	１	２５	１	１	１	０	０	２９
常　勤	０	２	０	０	２	０	０	４
非常勤	０	４	０	０	１	１	５	１１
合　計	１	３１	１	１	４	１	５	４４

＊地域小規模グループケア

	児童指導員・保育士			合　計
	正規職員	常勤	非常勤	
北町ホーム	４	０	０	４
中町ホーム	４	０	１	５
みつばホーム	３	０	０	３
さくらホーム	３	１	０	４
あおばホーム	３	０	１	４
つくしホーム	２	１	１	４
つばきホーム	３	０	１	４
フリー	３	０	０	３
合　　計	２５	２	４	３１

※塗りつぶし部分は令和７年度からの新設ホームです。